

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		
	2	職員配置は適切であるか	7	2	・日常的には適切だが、体調不良による休み等で不足することがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9		
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせ、活動に合わせた空間になっているか。	9		
	5	必要に応じて、個別の部屋や場所を使用する事が認められる空間になっているか。	2	7	
業務改善	6	業務改善をすすめる為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	
	7	保護者向け評価表を活用する等アンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	・いただいた意見については早急に対応するよう心掛けている。
	8	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	・他事業所に見学に行く機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが公表されているか。	9		
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		
	13	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	
	15	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	7	2	・担当者が週間スケジュールをたてることで計画的に行なっている。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	4	

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	
	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		・家庭からの連絡や当日の利用状況などの引継ぎを行なう事を心掛けている。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9		・利用者様の成長発達の様子に合わせた支援が出来るよう見直しを行なっている。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	4	
	23	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ計画を作成し、支援を行なっているか。	9		
	24	放課後等デイサービスガイドラインにある「4つの基本活動」を組み合わせ支援を行なっているか。	7	2	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	8	1	
	26	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確保等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9		・見学や体験利用の受け入れを行ない、必要時には担当者会議も行なう事が出来ている。
	27	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	1	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9		
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9		・卒業前には必ず学校の先生との会議の場を設けている。
	30	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		9	
	32	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	3	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要時にスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		・可能な限り小樽市のこども支援部会に参加している。
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	
保護者への説明責任等	36	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		
	37	提供するサービスについては、こどもや保護者の意見を尊重し、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する場を設けているか。	9		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から同意を得ているか。	9		
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		
	40	父母の会の活動に参加したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	・定期的に親子で参加することが出来る行事を行なっていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		・即時連絡し、正確に状況説明を行なうよう徹底している。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		
	43	個人情報に十分注意しているか	9		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達の為の配慮をしているか	9		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9		
	47	BCPを策定すると共に、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・月に一度の避難訓練を行なう事で、災害への備えを行なっている。
	48	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	49 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	・利用開始時の重要事項説明書に記載し、口頭でも伝えて了承を得ている。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる際、安全管理が十分にされた中で支援が行なわれているか。	9		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	52 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		
	53 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	9		
	54 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	